

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 技術・家庭【技術分野】 ）

No.1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（ 東京書籍 ） 発行者番号（ 2 ）	発行者（ 教育図書 ） 発行者番号（ 6 ）	発行者（ 開隆堂出版 ） 発行者番号（ 9 ）
1 内 容	①材料と加工における製作の基礎技能や作業手順が、木材・金属・プラスチックを同ページにまとめて、作業ごとに2ページで説明している。木材の特性は、「技術のとびら」で行間を詰めて説明している。「技術のとびら」以外は、行間を空けて重要語句は太字で説明している。 ②生物育成における育成技術は、作物6ページ、動物と水産生物3ページずつにまとめられている。栽培暦2ページで掲載されている。 ③エネルギー変換における電気エネルギーからの変換例について、4項目を2ページで細かく説明している。動力の伝達について、8ページにまとめている。エンジン機関を掲載している。 ④情報における計測制御について、写真と図を使い説明している。プログラムについて、アクティビティ図を使って説明している。 ⑤問題解決等のまとめ記載方法を、各編の「学習のまとめ」でまとめている。	①木材と加工における製作の基礎技能や作業手順が、木材・金属・プラスチックを同ページに4ページでまとめ、別冊で詳しく、作業ごとに2ページで説明している。木材の特性と利用例は、行間を空けて重要語句は青太字で説明している。 ②生物育成における育成技術は、作物3ページと別冊3ページ、動物と水産生物で4ページにまとめられている。栽培暦と伝統野菜を1ページでコンパクトに掲載されている。 ③エネルギー変換における電気エネルギーからの変換例について、3項目を2ページで説明している。動力の伝達について、4ページにまとめている。 ④情報における計測制御について、写真と図を使い説明している。アクチュエータの例が記載されている。プログラムについて、アクティビティ図を使って説明している。 ⑤問題解決等のまとめ記載方法を、各編の「やってみよう」でまとめている。	①木材と加工における製作の基礎技能や作業手順が、木材と金属・プラスチックに分けて作業ごとに2～3ページで説明している。木材の性質と種類は、行間を空けて重要語句は太字で説明している。 ②生物育成における育成技術は、作物6ページ、動物と水産生物4ページずつ、森林2ページにまとめられている。栽培暦4ページで掲載されている。 ③エネルギー変換における電気エネルギーからの変換例について、4項目を長所と短所を挙げて4ページで説明している。動力の伝達について、6ページにまとめている。 ④情報における計測制御について、写真・図を使い細かく説明している。アクチュエータの例が記載されている。プログラムについて、アクティビティ図を使って説明している。 ⑤問題解決等のまとめ記載方法を、各編の「問題解決の振り返りシート」でまとめている。
2 構成・分量	①4編・章・単元 ・材料と加工（3章11単元） ・生物育成（3章12単元） ・エネルギー変換（3章16単元） ・情報（4章19単元） となっている。 ②別冊はない。	①4編・章・単元 ・材料と加工（3章8単元） ・生物育成（3章8単元） ・エネルギー変換（3章13単元） ・情報（4章16単元） となっている。 ②別冊がある。（A～D編）	①4編・章・単元 ・材料と加工（3章20単元） ・生物育成（3章12単元） ・エネルギー変換（3章13単元） ・情報（3章18単元） となっている。 ②別冊はない。
3 表記・表現	①イラスト、写真と説明文を詳細な比率で表記している。 ②右上の余白箇所には二次元コードがあり、各サイトからの動画説明等にリンクし各ページの下部分には、技術の工夫を記載している。	①イラスト、写真と説明文を表記し、別冊表記もしている。 ②各分野の余白箇所に二次元コードがあり、各サイトからの動画説明等やレポート形式等の表記にリンクしている。	①イラスト、写真と説明文を適当な比率で表記している。 ②ページの右上には二次元コードがあり、各サイトからの動画説明等にリンクし、さらに工具、機械、部品等の写真を掲載している。また、各ページの下に単元に基づいた豆知識を記載している。
4 使用上の便宜	①他教科のほとんどの教科書と縦が同じサイズである。 ②各編で、「これからの技術について考えよう」のワークシートがある。 ③巻頭に教科書の構成・使い方と、ガイダンスを分けて掲載している。	①他教科より縦が5mm大きく、横が5mm小さい。 ②各編で、「各編のまとめ」の問題がある。 ③巻頭に教科書の構成・使い方とガイダンスをまとめて掲載している。	①他教科のほとんどの教科書と縦が同じサイズである。 ②各編で「学習のまとめ」の問題がある。 ③巻頭にガイダンスを掲載している。